

内子町議会だより

vol. 1

平成24年5月発行



屋根付き常盤橋にかかるこいのぼり（御祓地区）

議長あいさつ

内子町議会議長 林 博^{ひろし}



合併して
8年目を迎
えました。

内子町議会

は、町民の代表として、新町建設計画に基づいたまちづくり、財政健全化に向けた行財政改革の進捗を見守り、町民の声を反映したまちづくりに努めてきました。

この間、社会環境は大きく変化して地域経済も冷え込み、集落は一層少子高齢化が進んで新たな課題が生じてきました。こうした環境の悪化から、私たち議員に対する期待と目線を今まで以上に感じています。また自治会制度による地域づくりの中で、議会や議員の果たす役割は以前とは異なってきました。

この現状を真摯に受け止め、開かれた議会、身近な議会へ向けた改革を行っていくため、3月議会で「議会改革特別委員会」を設置しました。議会の開催や資質向上、情報提供など、様々な事柄を検討していきます。

このたびの議会だよりの発刊で、これまで以上に議会の情報

を皆様にお知らせできるものと考えています。今後、誌面の充実を図っていきますので、ご指導、ご助言をよろしくお願い申し上げます。

議会改革特別委員会の設置

議会活性化に向けて

議会改革特別委員長 山崎正史^{まさし}



今回、全議員の総意により議会改革特別委

員会を設置することになりました。議会は言論の府といわれますが、議会における発言は住民の意志と自らの深い識見に裏打ちされていなければ説明力を持ちません。その意味からも、議員は特定地域や団体の代表ではなく行政区画全体に目配りし、町民全体の福利の増進と安心・安全のまちづくりのために活動する必要があります。今まで以上に住民に信頼され、期待される議会を目指し、議員一丸となってその役割を果たすため改革に取り組んで行く覚悟です。今後とも、皆様の温かいご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。